

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成20年6月26日(2008.6.26)

【公表番号】特表2008-509677(P2008-509677A)

【公表日】平成20年4月3日(2008.4.3)

【年通号数】公開・登録公報2008-013

【出願番号】特願2007-525861(P2007-525861)

【国際特許分類】

C 12N 15/09 (2006.01)

C 12N 1/21 (2006.01)

【F I】

C 12N 15/00 Z N A A

C 12N 1/21

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月7日(2008.4.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0147

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0147】

脾臓由来のT細胞及び腫瘍浸潤T細胞は、標準的な手順に従って、CD8及びCD4表面マーカー並びにE7特異性について分析される(Gunn et al., 2001, J. Immunol., 167: 6471-6479)。C57BL/6マウスは、腫瘍がLmdd-TV3又はLm-LLOE7と共に埋め込まれた7日後及び14日後に、腹膜内に免疫接種される。脾細胞及び腫瘍は、2回目の注射の5日後に採取され、1:200に希釀された、E7ペプチド(RAHYNIVTF, SEQ ID NO:26)又は対照ペプチド(HIV-Gag)がロードされたH-2D^b四量体によって室温で染色される。四量体は、国立アレルギー感染病研究所(米国)の四量体コア施設(Tetramer Core Facility)、及び国立衛生研究所(米国)のエイズ研究部門(AIDS Research and Reference Reagent Program)から提供される。